北京シノデンタル 2015
(6/9～6/12. 2015)

June, 2015
Asia Dental Forum Inc.

●シノデンタル 2014●

日時

2015 年 6 月 9 日(火)～11 日(木) 9:00-17:00
12 日(金) 9:00-12:00

開催

北京国家会議中心 CNCC
住所:北京市朝陽区北辰東路7号

●主催:中国国家衛生計画生育委員会国際交流センター
●後援:中国国家衛生計画生育委員会、中華口腔医学会、北京大学口腔医学院

目的

日本の歯科材料・機器ならびに歯科臨床技術の普及を図り、以って日本企業の良き顧客の獲得とその育成を支援する。日中の進んだ臨床医と企業との協働を通じて、中国の歯科医療の向上に貢献する。

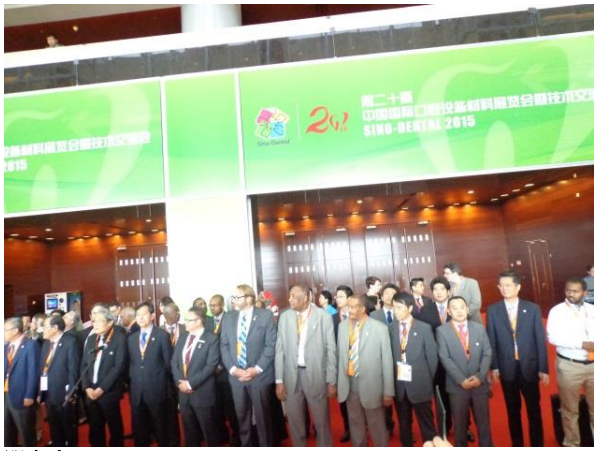
主な列席者

中国衛生計画生育委員会国際交流センター	高卫中主任
中華口腔医学会	王兴会長
北京大学口腔医学院	郭传瑱院長
ADF	江藤一洋理事長
ADF	岡野友宏専務理事

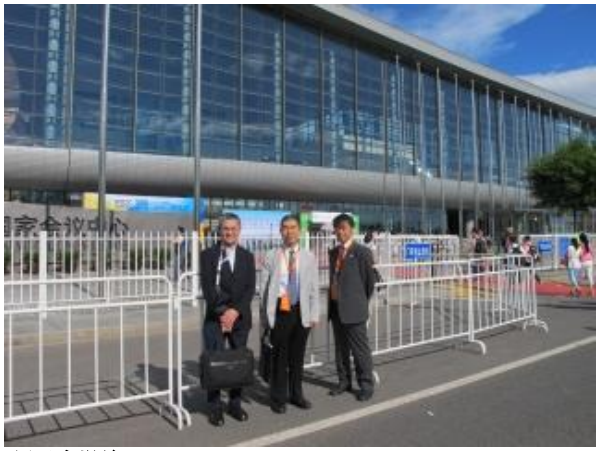
出展日本企業 ： 順不同 14 社 （ブース数） 前年比±0 社

株式会社モリタ(8/-4)
株式会社松風(6/±0)
株式会社 NSK(6/±0)
株式会社ジーシー(6/±0)
マニー株式会社(6/+4)
株式会社トミーインターナショナル(4/±0)
朝日レントゲン工業株式会社(4/±0)
クラレノリタケデンタル株式会社(4/±0)
株式会社タカラベルモント(4/±0)
中村デンタル株式会社(2/±0)
株式会社シオダ(2/+1)
株式会社吉田製作所(1/-3)
サンメディカル株式会社(1/±0)
株式会社ニッシン(1/±0)

＜写真＞



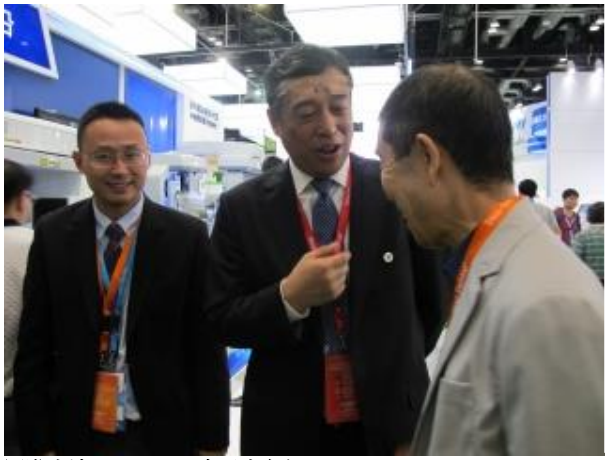
開会式


展示会場前にて

北京大学口腔医学院院長　郭先生と

シノデンタル 20 周年を記念してのジョギングイベント

歯科商工協会ブースは各社で持ち回り


国際交流センター　高卫中主任

㈱松風がジャパンセミナー講演ののぼりを作成。

●Japan Day “ジャパンセミナー”●
「日本先進歯科臨床講座」

日時 2013 年 6 月 11 日（木） 午前の部 9:00～12:15 午後の部 13:00～17:00
開催 北京国家会議中心 CNCC3 階 Room: 311B ●主催：日本歯科商工協会、一般社団法人アジアデンタルフォーラム ●後援：在中国日本大使館、中国国家衛生計画生育委員会国際交流センター
目的 シノデンタル 2015 の参加者に対して、日本の先進的な歯科医療技術と歯科器材を紹介することによって参加者の技術向上を促し、以って日本企業の顧客拡大を支援するものである。
セミナー参加者 7 講演 のべ約 1,900 名来場
プログラム：次ページ参照

＜写真＞

人目につきやすい CNCC3F 一番手前の会場！

定員 300 名の部屋に満員の状態

会場前では各社が宣伝をする。

セミナー司会進行の岡野と鷲沢（ADF 企画渉外部長）

＜プログラム＞

ポスター、チラシ、のぼりも同デザインで作成し、会期中展示会場に出店の各社へご協力いただき、各ブースにて配布・掲示した。

SINO DENTAL 2015

“Japan Seminar”

【日本先進歯科臨床講座】すぐに役立つ診療技術

2015年6月11日（木）9時～17時

場所：中国国家会議センターCNCC 311B（定員300名）

司会：岡野　友宏（ADF専務理事・昭和大学名誉教授）

鷲沢　直也（ADF広報部長・わしざわ歯科大学前クリニック）

9：00 - 9：15

開会ご挨拶　江藤 一洋（ADF 理事長）

＜午前の部＞テーマ講演　美容歯科：最近の進歩

9：15 - 10：15 ＜株式会社ジーシー＞

貞光 謙一郎（貞光歯科医院院長）

『東洋人に適応した審美修復』

10：15 - 11：15 ＜株式会社松風＞

劉 峰（北京大学口腔医学院問診部副主任）

『東洋文化に根差したMiCDと CCD』

11：15 - 12：15 ＜クラレノリタケデンタル株式会社＞

岳 林（北京大学口腔医学院教授）

『歯質欠損に対する審美的直接修復の接着と臨床対策』

＜午後の部＞一般講演

13：00 - 14：00 ＜株式会社ニッシン＞

黎 浩斌（一成牙醫診所院長）

『GPS導引術を用いて歯科のインプラントでの臨床応用について』

14：00 - 15：00 ＜株式会社トミーインターナショナル＞

趙 弘（歯学博士・TOMY中国総代理北京信和貿易公司総経理）

『Muscle Wins™と矯正治療』

15：00 - 16：00 ＜株式会社マニー＞

温 颖（首都医科大学附属北京口腔医院修復科主任）

『修復美学』

16：00 - 17：00 ＜京セラメディカル株式会社＞

島田 昌明（しまだ歯科医院院長）

『インプラント治療におけるメインテナンスの実際』

主　催：アジアデンタルフォーラム（ADF）　日本歯科商工協会（JDTA）

後　援：在中国日本国大使館　中国衛生計画生育委員会国際交流センター

＜演者の先生方の写真＞

貞光歯科医院院長　貞光　謙一郎先生（㈱ジーシー）

北京大学口腔医学院間診部副主任　劉 峰 先生（㈱松風）

北京大学口腔医学院教授　岳 林 先生（ｸﾗﾚﾉﾘﾀｹﾃﾞﾝﾀﾙ㈱）

一成牙醫診所院長　黎 浩斌 先生（㈱ニッシン）

大阪歯科大学歯学博士　赵 弘先生（㈱ﾄﾐｰｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ）

首都医科大学附属北京口腔医院修復科主任　温颖　先生
（マニー㈱）

しまだ歯科医院院長　島田 昌明 先生（京ｾﾗﾒﾃﾞｨｶﾙ㈱）

講演後質問が押し寄せた岳先生のご講演

＜所感＞

今回は会期中を通して天候に恵まれた。ほぼ快晴、北京で心配の PM2.5 は非常に低いと思われる。6 月 11 日に実施したジャパンセミナーは今年から消防の関係で、用意した座席以上の入場を制限するようになったので、超満員ということはなく、聴講しやすくなったともいえる。事前のチケット配布を今後、考える必要があるかもしれない。貞光先生は相変わらず緻密な診療を紹介し、私はいい勉強になった。劉先生は、美容歯科は元々、東洋から発したものということで、その歴史的過程について説明した。岳先生は接着の話で美容からはやや離れていた。午前の部は 12 時 15 分、予定通り終了した。今回は午前に美容の演題をもってきたが、聴衆はどの程度それを意識して聴きに来ていたかは不明。黎先生（台湾）はインプラント技術について全体をさらっていた。趙先生の話は矯正にとどまらず、口腔筋のトレーニングや按摩訓練にまで及び、興味深いものであった。温先生は修復についての基本的な話であった。島田先生はインプラントの話で、ご自身の症例を詳しく紹介し、またメンテナンスの重要性とインプラントの問題点を含めていたが、一般聴衆にはやや高度な内容であった。日本からのお二人の話はレベルが高く、もう少し時間があった方が良かったように思われた。（岡野）

展示会場は昨年同様大賑わいで、日本ブースは入口前ということもあり活気があった。昨年と異なり日本歯科商工協会ブースがメイン会場の外の通路に設置されており、各企業が当番制で受付をしていた。

ADF が歯科商工協会と共催するジャパンセミナーは、今年は 300 名定員の会場を 1 部屋借りて 9 時から 17 時の間で 7 講演。昨年の 200 名定員の会場と横幅は同じようであったが縦に長い間取りで、前の方に席が空いていても誘導がしづらかった。会場は満員で 300 という定員数は良いように思われたので、誘導しやすい導線を確保しておくことが次回の課題。司会の鷲沢先生は流ちょうな中国語でセミナーを進行して下さった。通訳が入った 2 名の日本人講師の先生方も通訳の方と息が合っていて、1 時間という時間内にきっちりと収められていて見事だった。温先生のご講演時ビデオ音声が出なかったことが、予行では出ていたので非常に残念で申し訳なかったが、温先生が慌てることもなく聴講者を笑わせていたのが印象的だった。今回当日の会場運営について各企業からもサポートいただき、協力体制でスムーズに運んだことがとても良かった。（河原）